

新型コロナウイルス感染拡大は、災害支援の現場にも大きな影響を与えました。感染症がまん延しているときに、避難所が過密状態であったり、現場の運営が混乱したりすれば、感染拡大を防ぐことはできません。そこで、コロナ拡大以降、感染症対策に着眼した新たな研修やガイドラインが整備されました。また、各地の自治体のなかには、効率的な避難所運営のため、行政と民間団体が一体で取り組む自治体が増えました。

外部から支援に入る場合、行政や支援団体間の連携と、自分たちが感染を広げない・かからないための感染対策がますます重要になってきています。災害時に迅速に活動を開始するためにも、支援者自身が日頃から体温測定などの健康管理や、被災地に入る前に必要な検査をすることを心掛けましょう。

ここでは、災害時だけでなく平時からできる、最善を尽くすためのヒントが紹介されたウェブサイトを取り上げました。

平時からの備え

◆内閣府防災情報のページ内「みんなで防災のページ」

<https://www.bousai.go.jp/kyoiku/minna/index.html>

【内閣府】

市民、学校、企業、町内会、消防団、水防団、自主防災組織、ボランティア、NPOなどが、防災の取り組みを考える際に役に立つ情報やノウハウを紹介しています。



◆赤十字防災セミナー

<https://www.jrc.or.jp/saigai/about/seminar/>

【日本赤十字社】

身近で起こり得る災害への備えに関する研修について、動画や小冊子で紹介しています。



◆備える・学ぶ 研修紹介

<https://pbv.or.jp/seminar/>

【一般社団法人 ピースボート災害支援センター (PBV)】

日頃の防災対策をはじめ、災害ボランティアに参加する心構えや支援の際の知識、避難所運営などの研修を紹介しています。



災害時全般

◆被災者支援コーディネーション ガイドライン

<https://jvoad.jp/guideline/>

【特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)】

行政・民間が公開している、支援や制度に関するガイドラインをまとめています。コーディネーション、感染症、活動全般、要配慮者など、項目ごとに掲載。日本のどこで災害が起きても支援の「もれ・むら」を無くし、必要な支援を効果的に届けるため、特に「被災者支援コーディネーション」と「分野別コーディネーション」は必読です。



◆ノウハウ集 <https://jvoad.jp/knowhow>

【JVOAD】

これまでの災害支援で培った支援団体や民間企業によるノウハウをまとめています。災害への備え、災害支援の基礎情報、災害の支援事例などが紹介されています。



◆便利サイト <https://jvoad.jp/site/>

【JVOAD】

災害支援に迷った時に参考になるサイトを紹介します。ボランティア活動を希望されている方々へ、役立つ情報がまとめられています。



感染症禍での活動

◆新型コロナウイルスの感染が懸念される状況における被災地入りする際の守るべき事項Ver.2 (2021年6月30日)

<https://www.japanplatform.org/info/2021/07/011440.html>

(PDF版)

https://www.japanplatform.org/info/pdf/JPF_covid19_rule.pdf?v=202107

【特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム (JPF)】

国内各地における災害支援の実施に際し、JPF国内災害ワーキング・グループ (ジャパン・プラットフォームとJPF加盟NGOからなる) が、被災地で災害支援活動を実施する際の行動規範を策定しました。感染症禍での支援活動において、遵守する事項を公開しています。なお、内容は随時更新されます。



国際基準

◆The Sphere Handbook 2018 スフィアハンドブック 2018年度版「人道憲章と人道支援における最低基準」

https://jqan.info/sphere_handbook_2018/

【支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク (JQAN)】

国際NGOをはじめとする、人道支援を実施した団体が活動を振り返り、「人道憲章と人道支援における最低基準」をまとめたハンドブック。数年ごとに改訂されながら、現在も全世界で実践されています。

災害援助における支援の質の向上を目指し説明責任を果たしながら、生命を守るための技術的基準がまとめられています。

日本語と英語でダウンロードできます。



◆Core Humanitarian Standard on Quality and Accountability (CHS)

「人道支援の質と説明責任に関する必須基準」

<https://jqan.info/documents/chs/>

【支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク (JQAN)】

■人道支援の必須基準

支援の質や効率を改善するため、人道支援を実施する組織や個人が利用できる「9つのコミットメント」をまとめた文書。質の向上のための基本行動や組織の責任についても、具体的に記載されています。

■ガイダンスノートと指標

「9つのコミットメント」を支援活動で実施する際に直面する問題を検証し、成果の測定や学習と向上の促進のために活用することができます。

いずれも、日本語と英語でダウンロードできます。



◆日本語版『PSEAH性的搾取・虐待およびハラスメントからの保護 実践ハンドブック』

<https://www.japanplatform.org/info/2021/05/241850.html>

■日本語字幕付き動画

PSEAH:許されない権力の乱用～人道支援における性的搾取・虐待・ハラスメントからの保護

<https://www.youtube.com/watch?v=VNkYV2UQvME>

【JPF】

海外の支援現場だけでなく、日本国内の災害支援の現場においても課題であり、国内での周知が求められています。国内外で活動するあらゆる支援団体・組織がこのハラスメントに関する方針を持ち、日々どのように実践していけばよいかを学べるハンドブックです。



熊本地震被災者支援に関する資料

◆Panasonic-KVOADプロボノプロジェクト

<https://www.kvoad.com/>

【特定非営利活動法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク (KVOAD)】

企業とNPOの協働事業。Panasonicのボランティア活動「Panasonic NPOサポート プロボノプログラム」では、発災直後から1年半分の「火の国会議」の議事録から、議題にあがったキーワード (炊き出し、心のケア、ブルーシートなど) を抽出、時系列に整理・分析しデータベース化しました。時間の経過により議題にあがるキーワードが変化していく様子がわかります。ニーズを先読みするヒントとして参考になる貴重なデータです。

■KVOADホームページ「Panasonic-KVOADプロボノプロジェクト」

(パソコン:右側、スマートフォン:下部に表示)

・最終報告書:プロジェクトの概要

・熊本地震各会議体議事での課題リスト:キーワード検索できるExcelシート

・Panasonicプロボノサイト:パナソニックグループの企業市民活動

熊本地震での震災復興支援の足跡やノウハウを今後に繋げたい

～くまもと災害ボランティア団体ネットワークへの資料整理・分析プロジェクト～



◆熊本地震被災者支援 記録誌

<https://www.japanplatform.org/programs/kyushu-disaster2016/documents.html>

【JPF】

復興支援活動に従事している、NPO、自治会等の団体、行政職員を対象に実施した研修内容をまとめた冊子。阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災など大規模自然災害からの復興プロセスに携わった講師陣による支援の知見や経験が具体的な事例とともにまとめられています。



◆熊本の市町村域での災害支援の知見をまとめた4つの冊子

<https://www.japanplatform.org/programs/kyushu-disaster2016/documents2021.html>

【JPF】

被災地の「地域力強化事業」として、市町村域で被災者・支援団体・行政等を「つなぐ」活動をする中間支援団体への助成事業を3期実施。4つの市町 (大津町、熊本市、益城町、御船町) で活躍した中間支援団体が、発災当初からの活動を自分たちで振り返り知見をまとめた報告書。各市町でどのように様々なアクターがつながり、被災者に漏れない支援を届けたか、具体的な事例がまとめられています。

